

SCHEDULE (スケジュール)

	7/12 (金)	7/13 (土)	7/14 (日)
19:00	18:30 TALK (60min) カナザワ映画祭 「日本インディーズ映画のリアル」 ～歴代「期待の新人監督」 受賞監督たちが語る～		
20:00	19:50 覆面上映 22:00 ? 上映作品は 来てからの お楽しみ!	19:20 ダンボ (64min)	19:20 プレデター (107min) 21:07
21:00		21:00 ボヘミアン・ラプソディ (134min) 23:14	21:50 ゴースト・ハンターズ (99min) 23:30
22:00			
23:00			

TICKET (チケット)

一回鑑賞券 ※各作品ごとに販売します

SA席
〈前売〉3,000円
〈当日〉3,500円
B席
〈前売〉2,000円
〈当日〉2,500円

一夜通し券

SA席 5,500円
B席 3,500円

全夜フリーパス

SA席 13,000円
B席 8,000円

ダンボのみ
小学生以下は
子供料金適用

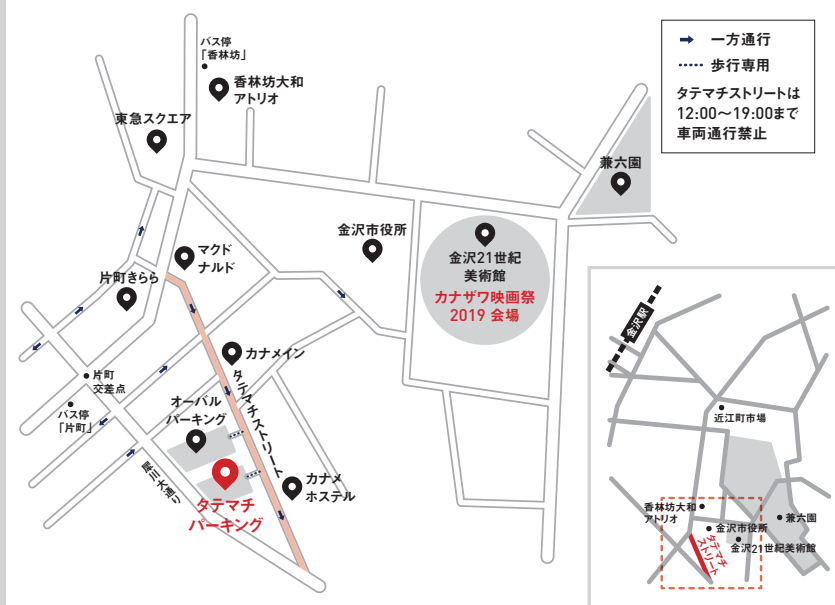
前売B席 1,000円
当日B席 1,200円

取扱い場所

- ▶金沢21世紀美術館ミュージアムショップ
(石川県金沢市広坂1丁目201)
※窓口での取り扱い、郵送は対応致しかねます。
- ▶タテマチ屋上映画祭公式サイト
(カナザワ映画祭公式サイト内) www.eiganokai.com

※各鑑賞券、各パスの変更、払い戻しはいたしません。

MAP (マップ)



金沢駅からの交通案内

- ▶タクシー 約15分
- ▶バス 金沢駅東口から乗車、「片町」下車徒歩約3分、「香林坊」下車徒歩約7分

駐車について

- ▶タテマチパーキング: 金沢市堅町94丁目 076-232-2244
通常料金: 初めの1時間 平日200円/土日祝400円その後30分ごとに100円 サイズ制限: 高さ~1.95m、幅~1.85m
- ▶オーバルパーキング: 金沢市堅町86丁目 076-220-8888
通常料金: 1時間ごとに400円 サイズ制限: 高さ~2.2m

●映画祭期間中のみ、1,000円(税込)で16時間停車可能(17:00~翌9:00)です。通常通り駐車いただき、映画祭受付で駐車券を提示ください。その場で16時間券を販売します。●タテマチストリートは12:00~19:00まで車両通行禁止です。駐車の際は「犀川大通り」からお入りください(堅町商店街からは徒歩のみのご入場) ●満車の場合は近隣のパーキングをご利用ください。

- http://www.tatemachi.com
- https://www.facebook.com/kanazawa.tatemachi
- https://twitter.com/tm430

問い合わせ先

- 会場 タテマチパーキング 金沢市堅町94丁目
- 問い合わせ 堅町商店街振興組合 050-0536-05359 tatemachi.rtff@gmail.com

CAMPFIRE
パトロン募集中!

クラウドファンディングWebサイト「CAMPFIRE」にてパトロンを募集しています。賛同者には優先入場いただけるなど、ここでしか入手できないリターンも多数。ぜひ応援宜しくお願い致します。
https://campfire.jp
「CAMPFIRE」サイト内で「タテマチ屋上映画祭」と検索ください

雨天時 雨天決行。ただし天候状況によっては1フロア下での屋内開催の場合もございます。その場合は直前に「tatemachi.com」Webサイト、SNS等でお知らせを致します。

主催 / 堅町商店街振興組合 オフィシャル・パートナー / 一般社団法人 映画の会 後援 / 金沢市・金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]・北國新聞社・金沢中心商店街まちづくり協議会

夕焼け、星空、スクリーン。

2019

タテマチ
屋上映画祭

Tatemachi
Rooftop Film Fest.



※会場風景はイメージです。

7.12 FRI - 14 SUN

タテマチパーキング屋上
石川県金沢市堅町94丁目

Powered by
カナザワ映画祭

☆ 2019 ☆

タテマチ 屋上映画祭

Tatemachi
Rooftop Film Fest.



この夏、石川県金沢市「タテマチストリート」内の建物屋上に映画館が登場！
全国に熱烈なファンを持つ「カナザワ映画祭」とタッグを組み、夏の夜をより楽しくする選りすぐりの作品をお届けします！

タテマチを盛り上げたくて

「タテマチストリート」は、若きキュレーターのセレクトショップやヘア・アーティスト、最近では宿泊施設や若者向けの飲食店等、今も昔も沢山の人が感性一つで挑戦し続け、発展してきた歴史を持っています。2019年、タテマチは「アート&クラフト」という新しいコンセプトを掲げ、今まで以上に挑戦者を応援する街として生まれ変わります。「タテマチ屋上映画祭」は、そんなタテマチの熱い想いを、「カナザワ映画祭」と一緒にカタチにした映画祭です。



タテマチ屋上映画祭 実行委員長
細川博史



TAG TEAM



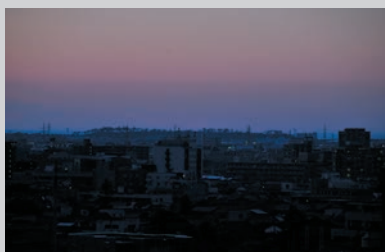
カナザワ映画祭

2019年7月12日(金)
～7月15日(月・祝)
金沢21世紀美術館
シアター21
(石川県金沢市広坂1丁目201)

※「期待の新人監督」についての詳細は、カナザワ映画祭Webサイトをご確認ください。
www.eiganokai.com

POINT なんとと言ってもロケーション

「タテマチストリート」内の立体駐車場、「タテマチパーキング」屋上が映画館に变身。白山連峰と金沢市の街並みが見渡せるグッドロケーションにて、夕暮れや夜空・吹き抜ける風など、屋外ならではの背景も映画とともにお楽しみください。



POINT ゆったりと鑑賞を

非日常感を余すことなく楽しんでいただけるよう、椅子にもこだわりました！夜空の下でリクライニングチェア*に横たわり、お好みのドリンクやフード片手に上映作品を観賞ください。出店店舗のラインナップはSNSで随時お知らせしていきます。



※SA席のみ。

私たちも応援しています！

『タテマチ屋上映画祭』はまさに美術館から街に拡がる映画祭、そのコンセプトに賛同し、後援させていただいております。スクリーンを通して皆でストリートを盛り上げましょう。

Support



金沢21世紀美術館館長 島敦彦

SCREENING TITLES (上映作品)

7/12 (金) 覆面上映

? 約120min



映画が始まるまでは何が上映されるかわからない！ 00年代を象徴する作品を初屋上映！

7/13 (土) 子どもも大人も楽しめる音楽映画特集

ダンボ
Dumbo 64min

1941年 アメリカ 監督：ベン・シャープスティーン 動画監督：ウォード・キンボール 製作：ウォルト・ディズニー 脚本：ジョー・グラント、ディック・ヒューマー 音楽：オリヴァー・ウォーレス、フランク・チャーチル 声の出演：エドワード・ブロフィ、ハーマン・ビング、ヴァーナ・フェルトン、スターリング・ホロウェイ



大きな耳の小象「ダンボ」はサーカス生まれ。あることからお母さん象と離れ離れにされてしまい、ダンボはお母さんを探す大冒険に出かける。ぜひ親子でこの名作をお楽しみください。

ボヘミアン・ラプソディ
Bohemian Rhapsody 134min

2018年 イギリス/アメリカ 監督：ブライアン・シンガー 脚本：アンソニー・マッカーテン 音楽監督：ベッキー・ペンサム エグゼクティブ音楽プロデューサー：ブライアン・メイ、ロジャー・テイラー 出演：ラミ・マレック、ルーシー・ポインントン、グウィリム・リー、ベン・ハーディ、ジョセフ・マッセロ



伝説的ロックバンド「クイーン」の軌跡を、リードボーカルのフレディ・マーキュリーを主人公に描く伝記映画。クライマックスのライブエイドのシーンは空の下の屋外上映ならさらに盛り上がるはず！

© 2018 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.

7/14 (日) バック・トゥ・ザ・80's ファンタスティック・フィルム 80年代の名作ファンタスティック映画を夏の星空の下でビールと共に!!

プレデター
Predator 107min

1987年 アメリカ 監督：ジョン・マクティアナン 脚本：ジェームズ・E・トーマス、ジョン・C・トーマス 特撮：スタン・ウィンストン 音楽：アラン・シルヴェストリ 出演：アーノルド・シュワルツェネッガー、カール・ウェザーズ、ビル・デューク、ソニー・ランダム、シェン・ブラック



© 1987 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.

南米のジャングルでゲリラ掃討作戦を展開する米軍特殊部隊が宇宙人と遭遇。死闘を繰り広げる。現在も続く人気シリーズのオリジナル第一作目。80年代の脂の乗りきったシュワルツェネッガーの姿を堪能できるSFホラー・アクション大作。

ゴースト・ハンターズ
Big trouble in Little China 99min

1986年 アメリカ 監督・脚本：ジョン・カーペンター 脚本：ゲイリー・ゴールドマン、デヴィッド・Z・ワインスタイン 音楽：アラン・ハワース 出演：カート・ラッセル、キム・キャトラル、デニス・ダン、ジェームズ・ホン



© 1986 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.

婚約者を拐われたトラック野郎がチャイナタウンに潜入すると、そこは魔界だった。チャイナマフィアに、悪の魔法使い、数々の怪物たち、仕掛け満載の地下迷宮など盛りだくさんのおもちゃ箱をひっくり返したような80年代を代表するジェット・ローラーアクション大作。

POINT ディスカッション「日本インディーズ映画のリアル」～歴代「期待の新人監督」受賞監督たちが語る～

「タテマチ屋上映画祭」と同日程で行われるカナザワ映画祭2019『期待の新人監督』。過去の『期待の新人監督』で受賞後デビューし、現在は八面六臂の活躍を続ける5人の若き映画監督たちを招きトークショーを行います。彼ら先輩から今年の『期待の新人監督』たちに向け、映画を作り続けるためのアドバイス、稼ごう、日本映画業界の問題点など、映画学校では教えてくれないトピックを徹底討論。

トークショー(入場無料) 2019年7月12日(金) 18:30～19:30頃
※会場詳細は裏面をご覧ください



小林勇貴
1990年静岡県生まれ。「期待の新人監督」初代グランプリ。商業映画(『全員死刑』)、連続ドラマ(『GIVER 復讐の贈与者』『すじばり』)、NGT48のMVを撮り、小説『殺界団地』、自伝『実録・不良映画術』など多方面で活躍中。



二宮健
1991年大阪府生まれ。『SLUMPOLIS』が「期待の新人監督」2014年で観客賞受賞。その後、高橋一生主演『THE LIMIT OF SLEEPING BEAUTY』で商業デビュー。最新作は門脇麦主演『チワワちゃん』。



大野大輔
1988年千葉県生まれ。映画美学学校修了後、『さいなら、BAD SAMURAI』で「期待の新人監督」2016年グランプリ。次作『ウルフなシッシー』で多数の映画賞を受賞。松本穂香主演『アストラル・アブノーマル鈴木さん』で商業デビュー。



岩切一空
1992年東京都生まれ。『花に嵐』がカナザワ映画祭に発見された(「観客賞」2016年受賞)後、各地の映画祭で上映される。最新作は『聖なるもの』。



阪元裕吾
1996年京都府生まれ。19歳の時に撮った「ペー。」で学生残酷映画祭を受賞。初めての長編映画『ハンクマンズ・ノット』が「期待の新人監督」2017年でグランプリを受賞し、キングレコードからDVD発売レンタルされる。連続ドラマ『すじばり』で監督も担当。